

事業所名 グループホーム六じょうや

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和 8年 6月 25日（木）		
参加者（人数）		議 題
利用者	0 名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族	3 名	2 入居者情報
地域住民の代表者	0 名	3 利用者の医療看護の状況
市職員	1 名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員	1 名	5 身体拘束廃止委員会
事業所	3 名	6 今後の事業計画
会 議 録		
2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。 3 入居者の医療看護の状況（R8.4.23～R8.6.22の期間）を報告しました。 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師 5月 脱水症と熱中症予防と対応 6月 夏の感染症（食中毒）について 地震対策について（避難指示の変更） 入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（別々に参加） 4 主な行事報告 ・父母の日 ・作品づくり ・アピタへの歩行と休憩 各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。 5 身体拘束廃止委員会 自分で上手に排せつできない人が何回もトイレにいかれ、床や衣類を汚すことがあります。男性の場合、立って排せつするので、特に便器に入らないで、関係ない場所に尿がこぼれていることがあります。いわゆる放尿という場合の人に対する場合、あなたなら身体拘束などせずに、どのように上手に排せつをさせることができますか。		

(家族) 自宅には昔、立ってする便器と座ってする便器があって、途中で立ってするのは撤去したから、座っているのだと思っていたが。

(家族) どのように言っても無理なので、汚れても、掃除しやすい状況にしておくしか方法がない。

(社協職員) 尿器を使って行えるといいですね。

(市職員) 自分で動いて放尿できる人は、拘束しても意味がないと思うので、何かいい方法があるといいですね。

(職員) 寝ていて動き出すときを注意しておいて、自分でしようとする前にトイレに誘導して、座ってもらうので大変です。今終わって、寝かしたと思ったら、すぐにまた、排尿していたりするので、困難です。

(その他の意見)

特になし

6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って ・設備について ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
- ・7月 七夕まつり

- ・次回運営推進会議 2026年 8月 27日(木)